

## 戦 評

一財) 北海道バスケットボール協会

大会名	第 71 回全国高等学校バスケットボール選手権大会兼全国高等学校バスケットボール選手権大会北海道予選会		
日 時	2018 年 11 月 4 日 10 時 00 分	会 場	湿原の風アリーナ
<勝ちチーム名> 札幌東商業高校	71	$\left\{ \begin{array}{l} 17 - 18 \\ 24 - 11 \\ 7 - 15 \\ 23 - 24 \end{array} \right\}$	68 <負けチーム名> 札幌山の手高校
男子 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">女子</span> 決 勝			
<p>【1P】 ウィンターカップへの切符をかけた女子決勝戦は札幌地区同士の戦い。準決勝まで圧倒的な力で勝ち進んできた札幌山の手高校に、インターハイを経験した札幌東商業がどのような戦いを見せるかが注目される。白の山の手高校は#6、#7、#8、#9、#10でスタート。青の東商業高校は#4、#5、#6、#7、#8でスタートする。</p> <p>開始からお互いに激しいマンツーマンディフェンスを見せるが、どちらも主導権を握らせない。序盤から両者の積極的なリバウンド・ルーズボールが目立つ。山の手は、#7のドライブから速いオフェンスを展開。東商業は、#4、#5、#6をきっかけに流れを作る。1P終了は両者譲らず、東商業17対18山の手で終える。</p> <p>【2P】 開始直後、東商業#5の速いドライブから#7へのアシストが決まり、先手を取る。東商業が徐々に流れをつかみ、Defでもプレッシャーをかけ、リードを奪う。山の手も激しいマンツーマンディフェンスから、高さを生かして得点を狙う。お互いにプレッシャーのあるDefを見せるが、東商業は#4をきっかけに#8のアウトサイドシュートで応戦する。山の手は#7のドライブから展開し、インサイドを生かしながら一進一退の攻防が続く。その後、東商業が#8のアウトサイドシュートが決まり、Defでも流れを掴んだ東商業が点差を広げて、東商業41対29山の手で前半を終える。</p> <p>【3P】 開始後、山の手#9のハイポストから#10のローポストへのパスが見事に決まり、後半スタート。残り8:33と早い段階で、東商業#7が5ファウルで退場。山の手高校は#10がリバウンド・ルーズボールを制し、オフェンスでもインサイドで果敢に攻め、徐々に流れを呼び戻す。オフェンスリバウンドから#7のアウトサイドシュートが決まり、東商業がタイムアウト。山の手高校、東商業ともにタイムアウト後、ゾーンディフェンスに切り替えた。山の手は#10のインサイドを中心に、東商業は#4、#6を軸にオフェンスを組み立てる。残りわずか、山の手#7アウトサイド、東商業は#5のアウトサイドを決め、東商業48対44山の手で終える。</p> <p>【4P】 出だしに山の手は激しいDefをしかけ、ターンオーバーを誘い、ブレイクで得点する。これに対し東商業もプレスで応戦する。7:22山の手が#7のアウトサイドシュートで逆転。6:22で、東商業がタイムアウト。その後も両者譲らず、一進一退の攻防が続く。最後は山の手#6がファウルアウトとなり、東商業は#4が残り9秒でフリースローを2本決めた。山の手は最後まで#9のアウトサイド、オフェンスリバウンドからの#10で攻めるが、リードを守り切った東商業高校が3点差で優勝を飾った。</p>			
記録者	鹿野 人嗣	所 属	一財) 北海道バスケットボール協会